

日本共産党
すみだ区議団ニュース
 第515号
 発行 日本共産党墨田区議会議員団
 発行責任者・はらつとむ / 編集責任者・としま剛
 発行所 墨田区吾妻橋1-23-20 ☎直通5608-6326
 墨田区役所16階 日本共産党区議会控室

新自由主義から脱却し、ケアに手厚い区政の実現を

日本共産党 山下ひろみ区議の本会議質問



代表質問を行う、山下ひろみ区議(9月9日、区議会本会議場)

墨田区議会定例会9月議会在、9月9日から9月30日までの日程で開かれました。9日には、山下ひろみ区議が代表質問にたち、「新型コロナウイルス感染症対策」「区民の営業と暮らしを守る施策」「墨田区基本計画の改定と区政運営」などについて、山本区長と加藤教育長の見解を質しました。

「新型コロナウイルスの感染爆発と医療崩壊は、菅政権による人災だ」菅政権のコロナ対策を問う

山下 新型コロナウイルス「第5波」は、デルタ株の影響で、これまでになく爆発的な感染拡大になっている。これは自然災害ではなく、やるべきことを怠ってきた政治の責任であり、「菅政権による人災ではないか。」の声を広がつている。**区長** 菅総理は着実に、わが党は、政府のコロナ対策には、①科学を軽と認識している。

新型コロナの感染伝播の鎖を絶つために、大規模な検査を

山下 無症状の感染者をいち早く見つけ、隔離・保護すること。いつでも、どこでも、無料で「PCR検査」が受けられるようにすべきだ。保育園、幼稚園、学校での集中的な行政的検査も行うべき。

区長 早期に陽性者を発見する戦略的サーベイランス体制を整えている。

「デルタ株のもとでの学校の感染対策の強化を」

山下 教職員と子どもたち週2回、公費負担で迅速な検査を行うべき。**教育長** 定期的な抗原検査キットを活用する。

「くらしと営業を守る対策の抜本的強化を」

山下 持続化給付金や特別定額給付金第2弾を実施し、事業者が営業を継続できるよう固定費の助成、「家賃等支援金」、「中小企業応援金」を創設すべき。生活困窮者に対し、様々な支援策を講じること。ひとり親家庭等に対する食料支援の実施、食料支援に取り組む団体等への支援を拡充すべき。**区長** 事業者には、区独自の給付金事業の実施は考えていない。生活困窮者に対し、国の制度で対応していく。ひとり親家庭などに対しては、フードバンクの案内、フードドライブで集まった食品の支援団体への提供を行う。

「コロナ危機を教訓に、ケアに手厚い区政の転換を」

山下 命と健康を守るケアに手厚い区政へ転換を図るべき。合わせて、向島保健センターまで廃止しようとしている行財政改革と公共施設マネジメントを抜本的に見直すべし。**区長** 指定管理者の導入

「SDGsの中心は、「貧困の克服」と「持続可能な社会」の実現」

山下 貧困対策について、生活保護の捕捉率など、格差拡大と貧困の連鎖

の防止を柱に据えること。持続可能な社会では、2030年までの温室効果ガス排出の削減目標を50%から60%に設定し、省エネルギーと再生可能エネルギーの組み合わせを推進すること。この2つを区の基本計画に重視する必要がある。**区長** 国や都の制度を活用し、格差の拡大や貧困の連鎖の防止に取り組んでいく。省エネルギーと再生可能エネルギーについては、区民目線での実践可能な取り組みを率先して、推進していく。

「マイナンバーを積極活用する補正予算に、としま剛区議が反対討論」

区民のプライバシー権や自己情報コントロール権の侵害、情報漏洩の危険性が高まる



反対討論を行う、としま剛区議(9月30日、墨田区議会本会議場)

としま剛区議は9月30日の本会議で、令和3年度墨田区一般会計補正予算に反対する立場で討論に立ちました。としま区議は「補正予算には新型コロナウイルス感染症対策や防災対策など、評価できる事業もあるが、問題はマイナンバーカード交付経費の追加。」と指摘。「この経費はマイナンバーカードの普及促進に向けて、窓口の混雑緩和のため、新たに専用窓口を設置するもの。窓口混雑の一因には、マイ

ナンバークードを持つ者が、持っている方が多い。15分ほど手続きに時間がかかっていること。区が強調してきたカード活用による『効率化』とは逆に、手続きが煩雑になっている。」と現場の実態とかがみ合わない区の姿勢を批判。また「マイナンバーは、社会保障、税、災害対策の3分野に限定され、個人情報分散管理されてきたが、デジタル化によってその対象を更に拡大し、大規模に個人情報を集めていくことは、情報漏洩や悪用を防ぐために行われてきた管理原則を揺るがす大問題。マイナンバー制度を積極的に活用する姿勢は見直すべき。」と指摘しました。

視座
 ▼「安保健法廃止」「辺野古新基地建設中止」
 「医療費削減政策の転換」「消費税減税」「原発のない脱炭素社会」「選択的夫婦別姓」
 9月8日に市民連合と野党4党が合意した20項目の共通政策です。これは9年間の安倍・菅自公政権をチェンジする要となる政策です▼9月30日、日本共産党の志位和夫委員長と立民の枝野幸男代表が、政権協力と選挙協力で合意しました。政権協力の合意は初めてであり、市民と野党の共闘を大きく発展させる画期的なものです▼一方で10月4日、岸田内閣が発足しました。岸田氏は総裁選でも、憲法9条改定、原発再稼働を進めると公言し、国政私物化疑惑の真相究明にも背を向けており、自民党役員人事でも「安倍カラー」がはつきり出ています。これでは「安倍・菅直系内閣」といっしょかありません。▼岸田氏は14日に衆院解散し、わずか5日後の19日に総選挙公示、31日を投票とする意向です。一カ月近く、総裁選を実施しながら、国会召集を拒否し続け、予算委員会もやらずに選挙とは、あまりに乱暴なやりかたです▼岸田自公政権に厳しい審判を下し、政権交代を実現し、新しい政権——野党連合政権をつくるために、みんなで力をあわせましょう。

保育園の整備計画が改定へ

公立保育園の新たな民営化は一時凍結に 一方で適正配置の名で統合も



委員会で発言するはら区議

では、公立保育園は10園だけにするとしています。今回の報告では、今後の民営化計画を一時ストップするとしています。2021年以降に計画されていた文花・梅若保育園の民営化はいつたん凍結されています。この背景には民営化のうまみが減ってきたため、事業者のなり手がいないという問題も指摘されています。この間の民営化では、コスト削減で地域からの食材購入をやめようとし、保護者の反対で撤回になるなど、民営化の問題点が噴き出ています。

子ども文教委員会が9月15日開かれ、「保育所等整備計画改定の考え方について」の報告がありました。「保育所等整備計画」では、これまで保育定数を増やす代わりに、公立保育園の民営化が進められてきました。整備計画

決算特別委員会

来年度予算編成に直結する決算委員会が開会

2020年度一般会計と国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療保険の3特別会計の決算を審査する決算特別委員会が、10月19日(火)から11月8日(月)までの日程で開かれました。日本共産党からは、はらつとむ区議、としま剛区議、山下ひろみ区議が決算委員として論戦に挑みます。



山下ひろみ 区議

はらつとむ 区議

としま剛 区議

決算特別委員会の日程 (日本共産党の質問時間)

- 10月19日(火) 説明日(この日の質疑はありません)
- 26日(火) 歳入・総務・諸支出金・予備費 午後 1:30~
- 27日(水) 区民生活・資源環境
- 29日(金) 国保・後期 午後 3:02~
民生・衛生・介護 午前 10:00~
- 11月1日(月) 産業観光・土木 午前 11:06~
- 2日(火) 教育・議会 午後 2:45~
- 5日(金) 総括 午後 1:10~
- 8日(月) 意見開陳 午前 10:00~



区の『ゼロカーボンシティ宣言』

「2030年までのCO2削減目標を明確にして 緊迫感・危機感のあるものに」高柳区議が主張



委員会で意見を述べる高柳区議

民・事業者・区が協働することにより、脱炭素社会の実現に向けたまちづくりを推進して「いくとし」で、区長と議長の連名で宣言するものがある」と主張。

地域産業都市委員会が9月21日に開催され、「ゼロカーボンシティ宣言の検討状況」について報告がありました。この宣言は、「2050年二酸化炭素排出実質ゼロの実現をめざす『すみだゼロカーボンシティ2050』を宣言し、区

温室効果ガスの排出量「実質ゼロ」を達成するためには、2030年までの取り組みが決定的。国連は、2010年度比で、CO2を45%以上削減することを提起している。ところが日本政府の削減目標は42%と低く、もつと積極的な目標を掲げるべき。区の宣言は、2030年までの緊迫感・危機感にかけている。2030年までの削減目標を示して、区の姿勢をアピールする必要がある」と主張。



シリーズ

今年の3月から一年半過ぎましたが、私がコロナ患者を何人が発見したので、今回書いてみました。

すみだ共立診療所 吉沢先生にきく コロナという病気

広がった。ただ、死亡する人がいなくなったので、私はほっとしました。在宅で、呼吸器の病気で酸素を使用していた高齢の女性(80歳)が最後にまで食欲もあり、しっかり話もできていて、夜間、救急車も呼ばずに下熱した事は一番うれしかった。この頃、東京で在宅療養者が入院できず、死亡した例が毎日報道されていました。今年の冬は、またコロナが増えて、同じことが起きないよう準備が必要。また8月には初めて老

墨田区議会9月議会で議決された主な議案等と各党の態度

	共産	自民	公明	立憲墨	墨立憲	オン	新す	絆	無	結果
令和3年度墨田区一般会計補正予算	×	○	○	○	○	×	○	○	○	可決
旅館業法施行条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
墨田区公衆浴場の設置場所の配置及び衛生措置等の基準に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
墨田区保育所等の利用者負担額を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
墨田区立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
吾妻立花中学校旧校舎ほか解体工事請負契約	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
土地の売払いについて (シティハイム墨田の土地等を売り払うもの)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
墨田区教育委員会教育長任命の同意について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
墨田区教育委員会委員任命の同意について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
出産育児一時金の増額に関する意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

*「立憲墨」は「立憲民主党墨田区議団」、「墨立憲」は「墨田区議会立憲民主党」、「オン」は「墨田オンブズマン」、「新す」は「新しいすみだ」、「絆」は「地域連合『すみだの絆』」、「無」は「無所属」の略。